

感染症管理センター

1. 概要

感染症管理センターは、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務職員と協同し、患者と医療従事者の双方を医療関連感染から守る活動を行っている院長直属の部門である。抗菌薬適正使用支援チーム（AST）と感染対策チーム（ICT）があり、近年問題となっている薬剤耐性（AMR）対策として、ASTが抗菌薬使用状況を定期的に監視し広域抗菌薬の適正使用化をすすめた。また、抗菌薬使用ガイドライン第5版として改訂した。ICTとして、週1回定期的に院内の巡回ラウンドを行い院内感染事例の把握を行うとともに院内感染防止対策の実施状況の把握・指導を行っている。

今年度は新たに肝炎ウイルス抗原・抗体陽性患者診療実施調査を開始し新規に陽性となった患者には主治医を通して消化器内科受診を勧奨している。

（センター長 浦野 文博）

（文責 主任 伊藤 賀代子）

2. 活動報告

(1) 感染症発生動向調査

①全数報告

(件)

類型	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
二類	結核	49	41	46
三類	コレラ	0	1	0
	腸管出血性大腸菌感染症	4	5	9
	パラチフス	0	0	0
四類	A型肝炎	2	1	0
	つつが虫病	0	0	0
	デング熱	0	1	1
	マラリア	0	0	0
	レジオネラ症	9	3	2
五類	アメーバ赤痢	0	0	0
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	3	1	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	2
	急性脳炎	0	3	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	1
	後天性免疫不全症候群	2	3	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1	0
	侵襲性髄膜炎感染症	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	11	14	3
	水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る)	3	1	0
	梅毒	2	1	1
	播種性クリプトコックス症	1	2	0
	破傷風	0	1	0
	百日咳	3	0	0
	風しん	2	0	0
麻しん	3	1	0	

②小児科定点報告

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週報	RSウイルス	89	135	115
	咽頭結膜熱	0	1	0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	74	85
	感染性胃腸炎	903	830	787
	水痘	11	12	12
	手足口病	5	13	1
	伝染性紅斑	2	0	0
	突発性発疹	6	2	5
	百日咳	-	1	2
	ヘルパンギーナ	11	7	8
流行性耳下腺炎	1	29	54	

③基幹定点報告

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週報	細菌性髄膜炎	1	4	6
	無菌性髄膜炎	1	1	1
	マイコプラズマ肺炎	0	5	17
	クラミジア肺炎	0	1	1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	6	28	18
月報	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	133	154	137
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	2	0

④インフルエンザ定点報告

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週報	インフルエンザ	1,083	893	804

⑤インフルエンザによる入院患者報告

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
週報	インフルエンザ(入院患者)	139	148	116

⑥職員の感染曝露

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	針刺し・切創(EPI-Net A)	41	60	61
	皮膚・粘膜汚染(EPI-Net B)	12	11	11
	院内結核曝露	7	5	1

⑦職員健康外来

(件)

	疾患名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	延べ受診者数	49	88	125